西暦　2026 年　11 月　16 日　　第 2 版

天理よろづ相談所病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。
本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の連絡先にお問い合わせください。
お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはございませんのでご安心ください。
また、この研究は当院の研究倫理委員会の審査を受け、病院長の許可を受けて実施しています。

研究課題名	当院における多発肺癌に対する根治的手術症例の後方視的観察研究
当院の研究責任者（所属）	天理よろづ相談所病院　呼吸器外科　宮本英
本研究の目的	近年の医学、医療の進歩により肺癌に対する治療成績は劇的に向上しています。 特に最近の肺癌に対する手術療法の大きなトピックの１つが、小型の早期肺癌に対する縮小手術です。一定の条件を満たす早期肺癌に対しては、呼吸機能を温存しつつも根治性が担保されることがわかってきたため、縮小手術が積極的に考慮されるようになっています。 一方で、多発の肺癌に対する手術療法ついては実証の乏しいところで、縮小手術の適応条件を拡大してでも呼吸機能温存を図るべきなのか、もしくは実直に旧来通りの大きな切除を行うべきか、意見の分かれるところとなっています。 本研究では、未だ診療ガイドラインには明記されていない、このようなケースに注目し、今後のさらなる手術療法発展を見据えた未来の治療戦略を議論することを目的としています。
調査データ 該当期間	2013年1月1日から2021年12月31日
研究方法 （使用する試料等）	■調査対象となる患者様 上記期間に当院に入院され、多発肺癌に対していずれも根治を目的とした肺切除術を施行した患者様
	■使用する情報 診療記録、検査データ、画像検査結果等
試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	当院から他の機関への試料・情報の提供はない

個人情報の取り扱い	研究に利用する試料や情報には個人情報が含まれますが、解析の段階で個人情報は排除されます。当院の研究責任者は、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける情報も含めて、責任をもって適切に管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報が公表されることは一切ありません。
本研究の資金源 （利益相反）	本研究に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。利益相反については、当院の利益相反委員会で審査され、適切に管理されています。
研究期間	病院長承認日　～　　2027 年 04 月 30 日
お問い合せ先	天理よろづ相談所病院　呼吸器外科 電話：0743-63-5611（代表） 研究責任者：宮本英